

Shin-ai Library通信

和歌山信愛中学校高等学校図書館 vol.6 (2023.3.8発行)

みなさん、この一年間の学校生活はどうでしたか？
図書館では、色々な本を紹介したり、特集コーナーをつくったり、調べもののお手伝いをして、みなさんが本と出会うきっかけをつくってきました。一冊でも、記憶に残った本があればいいなと思います。
いよいよ新年度！これからも、たくさん図書館を利用してくださいね！

『その本は』

又吉直樹・ヨシタケシンスケ著

年老いた本好きの王様に命じられ、世界中のめずらしい本の話を集める旅に出た二人の男。帰ってきた二人が語る「その本」たちの話は、不思議で、笑えて、感動的で、味わい深いものばかり。人気絵本作家ヨシタケシンスケさんの挿絵もたくさんあって、読み始めるととまらない一冊です。



新着本紹介

『名探偵のままでいて』

小西マサテル著

小学校教師の楓には、幻視や記憶障害などの症状をもつ認知症の祖父がいる。しかしその祖父、元小学校校長な上に、非常に知的で推理好き。楓の日常にある謎や事件を見事に解き明かします！祖父を大切に想う楓の気持ちにも寄り添える、感動ミステリー。

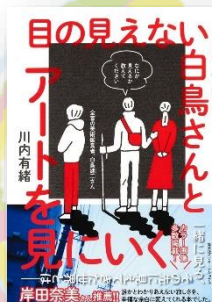


←中学生に
おすすめ

高校生に →
おすすめ

『おばあちゃんは猫でテーブルを拭きながら言った』 金井真紀著

世界36言語のことわざを紹介するこちらの本。タイトルと表紙の絵を見ると、意味が気になります。個人的にいいなと思ったのは、アルメニア語の「良いことをしたら水に流せ」ということわざ。「良いことなのになんで流しちゃうの？」と思った人は読んでみて！



他にもこんな本が入ったよ♪

『目の見えない白鳥さんとアートを見に行く』 川内有緒著

目の見えない白鳥さんは、年に何回も美術館に行く。友人に誘われて白鳥さんとアート鑑賞をすることになった著者は、思いもしなかったアートの見方を体験する。障がいのこと、社会のこと、私たちそれぞれのことを、深く、でも明るく考えさせてくれるノンフィクションです。

『約束の果て』 高丘哲次著

五千と七十年前、少年と少女は約束を交わした。二人のことが語られるそれぞれの歴史書をたどり、少しずつ明らかになっていく世界の姿。章を追うごとに驚きの景色がひろがる！まだ見たことのない、感動の神話ファンタジー。



『残像に口紅を』 筒井康隆著

『本好きの下剋上』

シリーズ第5章 香月美夜著

『トルコから世界を見る』

ちくまQブックス 内藤正典著

『赤ずきん、ピノキオ拾って』

死体と出会う』 青柳碧人著

などなど、ほか多数

『博士の長靴』 瀧羽麻子著

天気の変化である藤巻博士とその家族を中心に、いろいろな人の人生がそれぞれの視点で語られる連作短編集。天気が変わり、季節は移ろい、時代も変わる。でも、どんなときも変わらず空をみている博士。疲れたとき、心をじんわりと温めてくれるようなお話です。



各賞受賞作 あいします！

「春の本」特集

やっています。

春は心機一転！
色んな新しいことが
はじまりますね。
みんなのチャレンジを
応援！春にぴったりの
本を集めました。



第168回
芥川賞



「この世の喜びよ」
井戸川射子



「荒地の家族」
佐藤厚志

第168回
直木賞



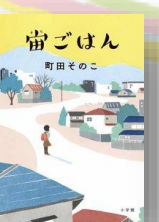
「地図と拳」
小川哲



「しろがねの葉」
千早菫

書店員さんが選ぶ / ミネート10作品、そろっています！

2023
本屋大賞



大賞発表は
4/12予定！
楽しみですね♪

春休み借り放題♪

今だけ特別！
何冊でも本を借り
ことができます！

対象期間
3/8(水)から
3/17(金)まで

借り放題とは
貸出冊数→何冊でもOK
貸出期間→始業式まで
という特別企画です♪

